

2023年3月期第2四半期 決算説明会

2022年11月21日

TDCソフト株式会社



1 2023年3月期第2四半期 決算概況（連結）

2 2023年3月期第2四半期 主要施策の状況

3 2023年3月期 見通しについて

代表取締役社長 小林 裕嘉

4 2023年3月期第2四半期 決算内容

管理本部担当取締役執行役員 大垣 剛

2023年3月期第2四半期の実績

- 全ての事業分野が堅調に推移し、**売上高は前年同期比14.5%増の16,793百万円で着地**
- 当期は人材確保を積極的に推進したことに伴う人件費増を見込むも、これを上回る増収効果により**営業利益は前年同期比16.6%増の1,851百万円を確保。**

トピックス

● 次世代型SI事業の状況

重点戦略分野を中心に順調に拡大。

売上高は前年同期比65%増の39.3億円となり、売上構成比7.2%増の23.4%まで拡大。

● 中期経営計画 『Shift to the Smart SI Plus』（FY2022-FY2024）

主要戦略「事業領域の拡大」等に向けた積極的な投資施策を推進



2023年3月期第2四半期 決算概況（連結）

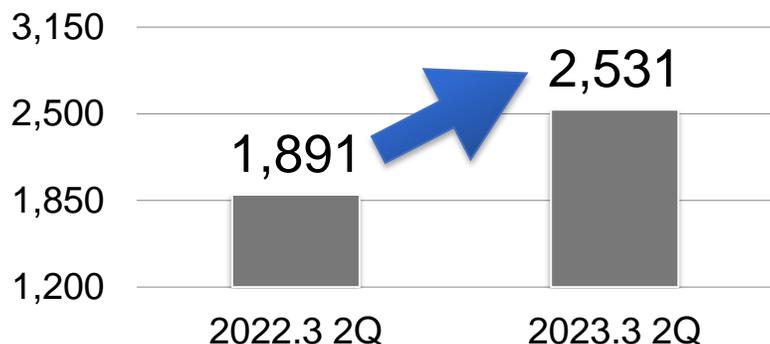
(単位：百万円)	2023年3月期 第2四半期	利益率	前年同期比	2022年3月期 第2四半期
売上高	16,793	-	+14.5%	14,661
売上総利益	3,674	21.9%	+18.9%	3,090
営業利益	1,851	11.0%	+16.6%	1,588
経常利益	1,922	11.4%	+16.7%	1,647
当期純利益	1,301	7.8%	+16.5%	1,117

【ハイライト】

- 当期は人材確保を積極的に推進したことに伴う人件費増を見込むも、アライアンスによるサービス提供体制を強化したことによる増収効果により **営業利益は前年同期比16.6%増の1,851百万円を確保。**

ITコンサルティング&サービス分野

前年同期比+33.9%

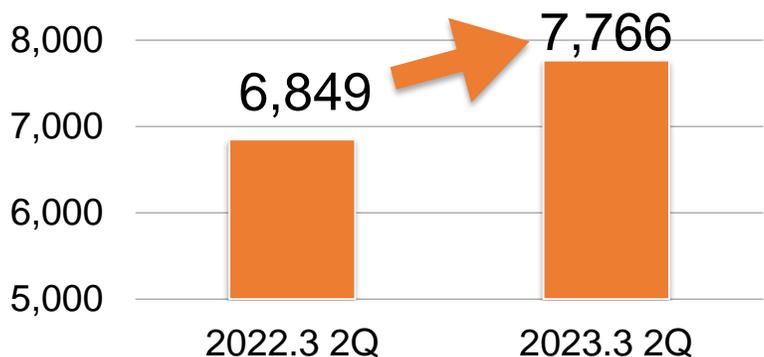


お客さまのDX推進に向けたIT戦略・システム化構想の立案、技術コンサルティング、教育サービス、自社クラウドアプリ、BI/DWH、ERP、CRMなどのソリューションサービスを提供

クラウド系エンタープライズソリューションサービス関連の案件が牽引

金融ITソリューション分野

前年同期比+13.4%



金融業向けにシステム化構想・設計・開発・保守などの統合的なITソリューションを提供

クレジット関連のモダナイゼーション系の次世代型案件が牽引

公共法人ITソリューション分野



流通業、製造業、サービス業、公共向けにシステム化構想・設計・開発・保守などの統合的なITソリューションを提供

運輸業、自動車・鉄鋼等の製造業向けの開発案件等が牽引

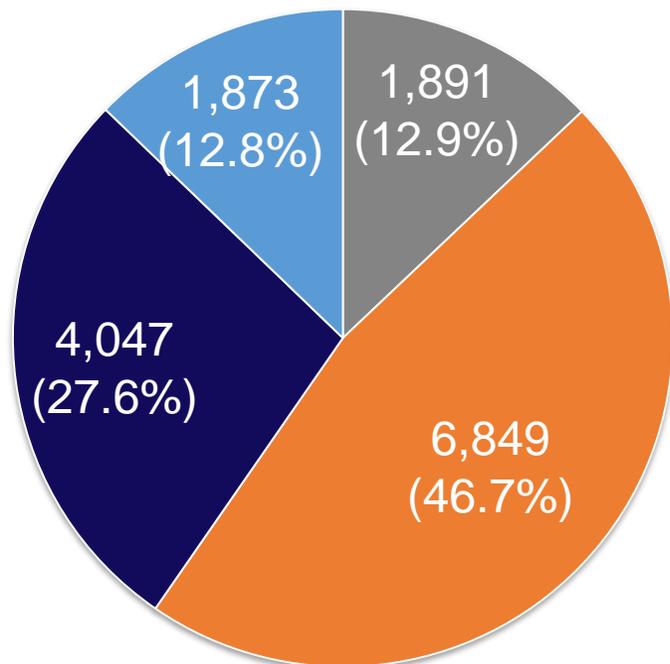
プラットフォームソリューション分野



ITインフラの環境設計、構築、運用支援、ネットワーク製品開発、ネットワークインテグレーション等を提供

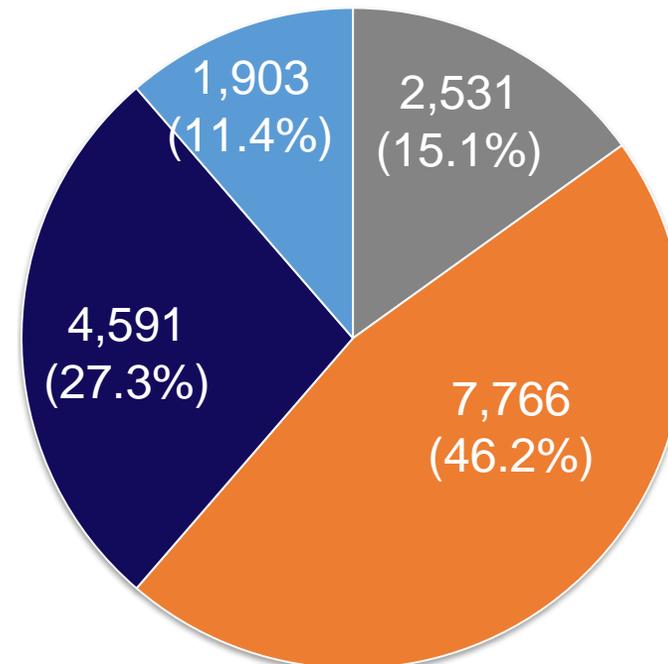
クラウド関連のインフラ構築案件が堅調に推移

2022年3月期第2四半期
14,661百万円



- ITコンサルティング&サービス
- 公共法人ITソリューション

2023年3月期第2四半期
16,793百万円



- 金融ITソリューション
- プラットフォームソリューション



2023年3月期第2四半期 主要施策の状況

Shift to the Smart SI Plus

既存のSI事業領域を軸に新たな領域へ事業を拡大
新たなビジネスモデルに必要なケイパビリティを獲得し、
新たな次世代型SI企業を目指す

Plus!
事業領域の拡大

社会や顧客の潜在ニーズを捉え、最新の要素技術等を活用した付加価値の高いインテグレーションサービスの拡大

高付加価値
SIサービスの追求

主要戦略

高生産性と高品質を両立するSIプロセスの整備などをイノベーション的アプローチで実現

SIモデル変革
の推進

次世代型SI事業の全体概況について

次世代型SI事業は順調に拡大

アジャイル開発やクラウド分野が牽引し、
売上高構成比23.4%に拡大

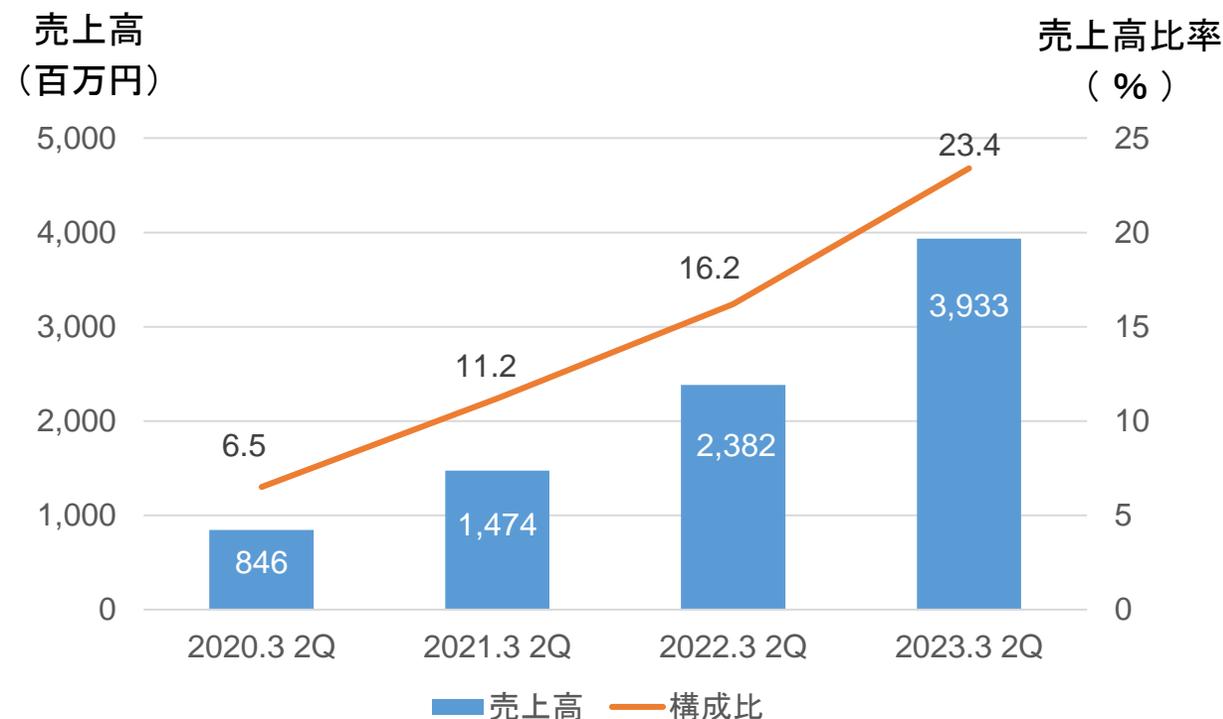
当該事業の拡大やコスト削減の取組み
により連結業績において収益性が向上

売上総利益率 21.9% (前年同期比+0.8%)
営業利益率 11.0% (前年同期比+0.2%)
経常利益率 11.4% (前年同期比+0.2%)

次世代型SI事業

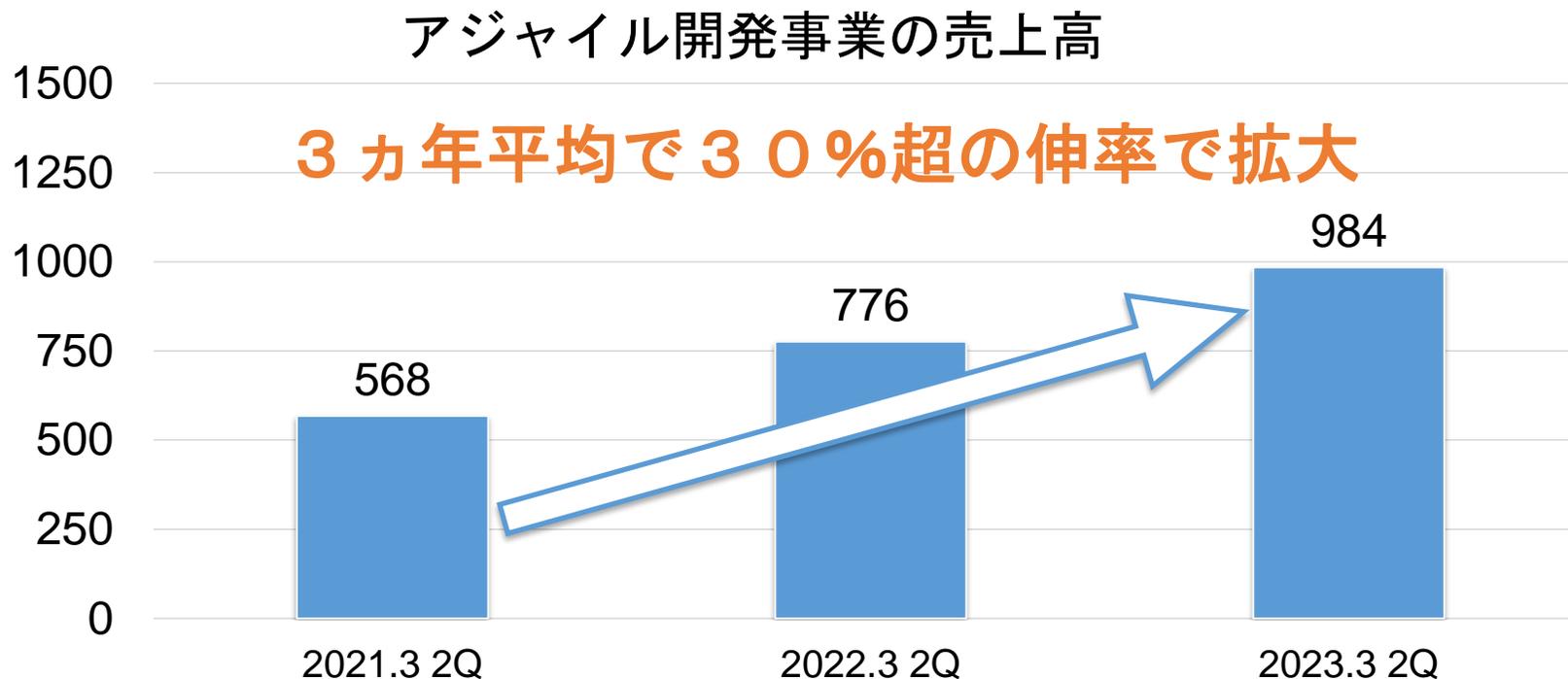
顧客の潜在ニーズを捉え、アジャイル、セキュリティ等の最新の要素技術等を活用し、高付加価値サービスの提供と時間や手間などを含めたユーザコストの低減を両立したインテグレーションサービス

次世代型SI事業の売上高比率および売上高推移



TOPICS : 重点戦略分野 アジャイル開発事業

顧客のDX需要拡大に伴い、
アジャイル開発事業の売上高は着実に拡大



TOPICS : 重点戦略分野 セキュリティ関連事業

システムのライフサイクルを意識した
トータルセキュリティソリューション
サービスを提供

セキュリティ診断・分析

- Web/ネットワークセキュリティ診断
- ペネトレーション(侵入)テスト
- システムのセキュリティ分析

ガバナンスの強化支援

- CSIRT構築支援
- セキュリティ教育支援

監視・監査支援

- SIEM構築支援
- ※SIEM:セキュリティログ統合監視

対策ソリューション

- Webアプリケーションファイアウォール
- Cloudセキュリティプラットフォーム
- コンテナセキュリティ

セキュリティ開発事業の売上高は
既に前年度実績を上回る見込み

セキュリティ関連事業の売上高



高生産性と高品質を両立するSIプロセスの整備などをイノベーション的アプローチで実現

● サービス品質水準の向上

ハイスキル人材のシェアリングを推進するなどサービス品質水準の向上に取り組む。

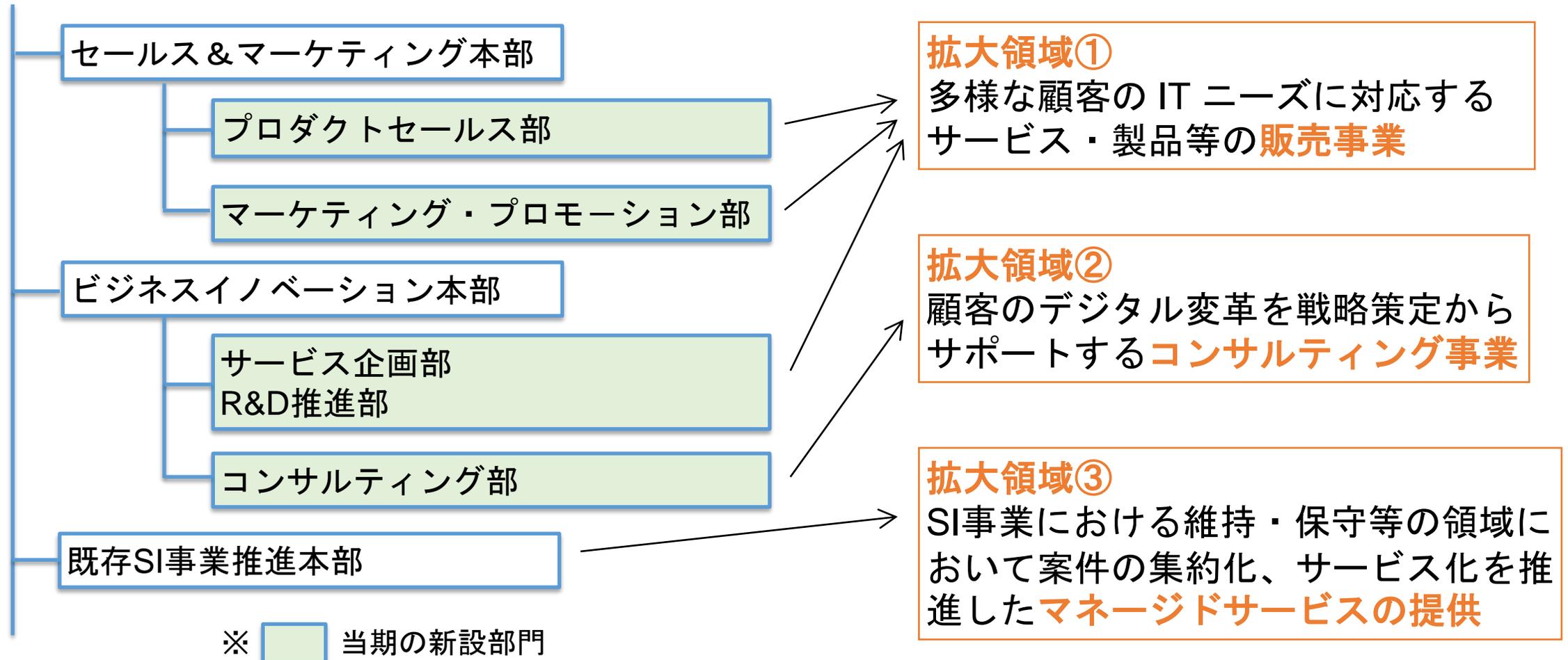
● トラブルプロジェクトの撲滅

プロジェクトパフォーマンス評価制度の導入などのトラブルプロジェクトの撲滅を図る。



計画よりも利益率が低下したプロジェクトの構成比

既存のSI事業領域を軸に新たなビジネスモデルに必要なケイパビリティを獲得し、新たな領域へ事業を拡大。



● 技術投資の拡大

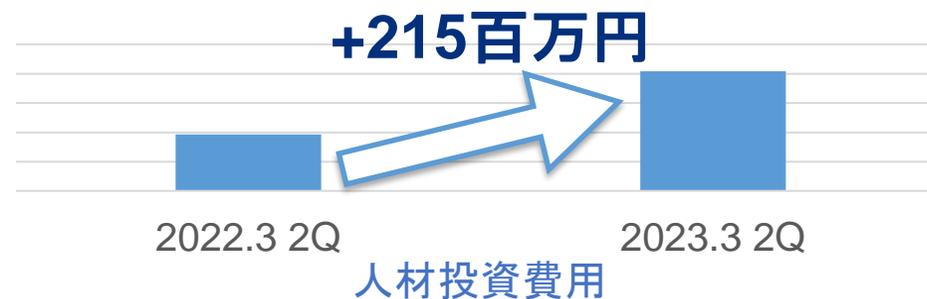
新規事業や高付加価値分野のさらなる拡大を狙い要素技術への投資を拡大

2022年度投資分野

- ・ アジャイル ・ セキュリティ ・ UXD ・ クラウドネイティブ ・ データアナリティクスプラットフォーム
- ・ **フロントエンドフレームワーク(当期追加新分野)** ・ **オートメーションマネージドサービス(当期追加新分野)**

● 人材への投資

前期から2倍の新卒採用数を確保するなど積極的な人材確保施策を推進。
また、教育投資や人材確保目的としたブランディング投資を推進するなど、
多角的な投資施策を展開。





2023年3月期 見通しについて

ITコンサルティング&サービス分野

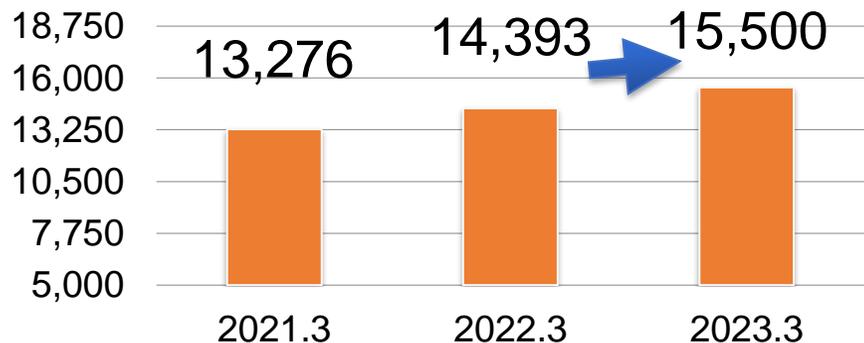
前期比+22.5%



クラウド系エンタープライズソリューション関連
案件の需要は継続し、拡大基調を維持できる見込み。

金融ITソリューション分野

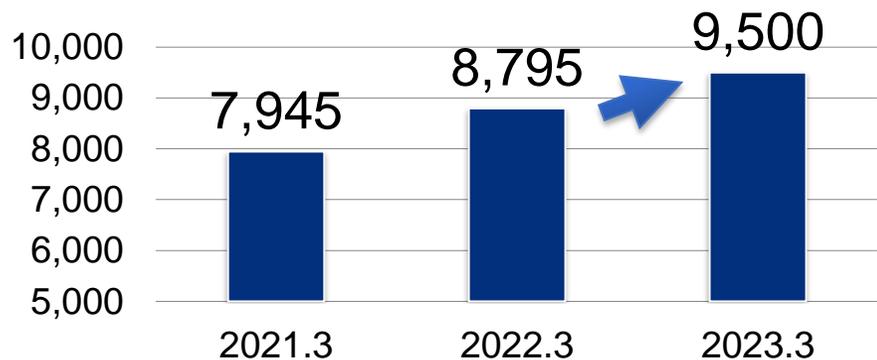
前期比+7.7%



既存領域は堅調に推移し、モダナイゼーショ
ン、レガシーマイグレーション関連案件需要は
旺盛であり、増収見込み。

公共法人ITソリューション分野

前期比+8.0%



運輸業・製造業でのDX需要等を背景にした顧客のIT企画支援等を中心に引き続き拡大見込み。

プラットフォームソリューション分野

前期比+3.6%



クラウドニーズの高まりにより事業は堅調に拡大見込み

業績予想および配当予想

(単位：百万円)	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	EPS (円)	配当予想 (円)
通期	34,000 (+9.9%)	3,260 (+9.9%)	3,355 (+8.9%)	2,270 (+9.7%)	94.75	中間15.00 期末 30.00 合計 <u>45.00</u>

- 中期計画に基づく投資施策を積極的に推進。収益拡大効果から投資コストを通期で吸収し、増収増益を予想。



2023年3月期第2四半期 決算内容

- 財務諸表
- 売上高分析
- 受注高・受注残高
- 営業利益分析

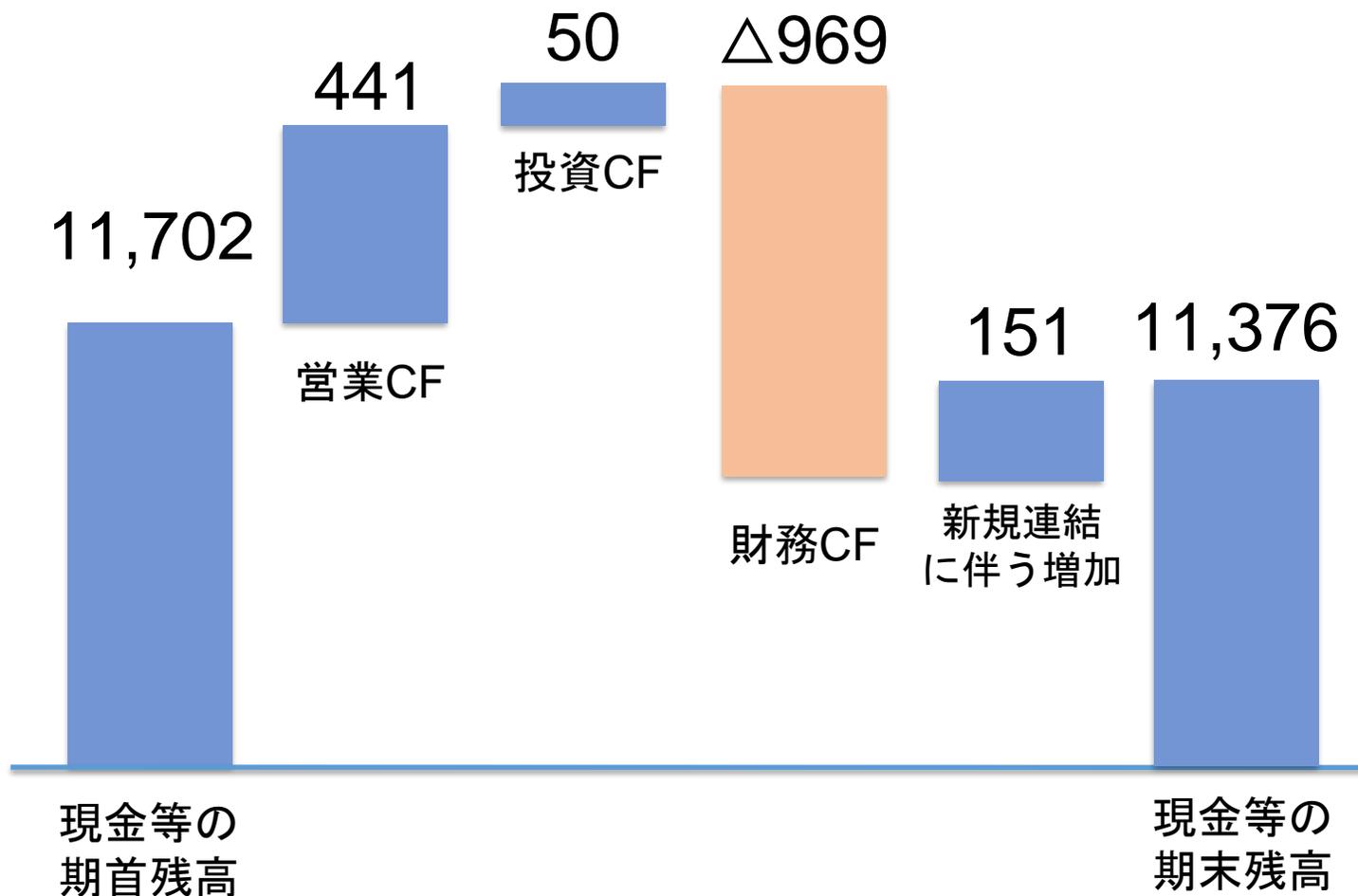
損益計算書

(単位：百万円)	2023年3月期 第2四半期	2022年3月期 第2四半期	増減率
売上高	16,793	14,661	+14.5%
労務費	5,935	5,737	+3.5%
外注費	6,883	5,551	+24.0%
その他経費	442	362	+22.2%
仕掛増減高	142	80	+75.6%
売上原価	13,119	11,570	+13.4%
売上総利益	3,674	3,090	+18.9%
販売費及び一般管理費	1,823	1,502	+21.3%
営業利益	1,851	1,588	+16.6%
営業外収支	70	58	+19.7%
経常利益	1,922	1,647	+16.7%
税引前当期利益	1,922	1,647	+16.7%
当期純利益	1,301	1,117	+16.5%
EPS	51.84	44.0	+16.5%

貸借対照表

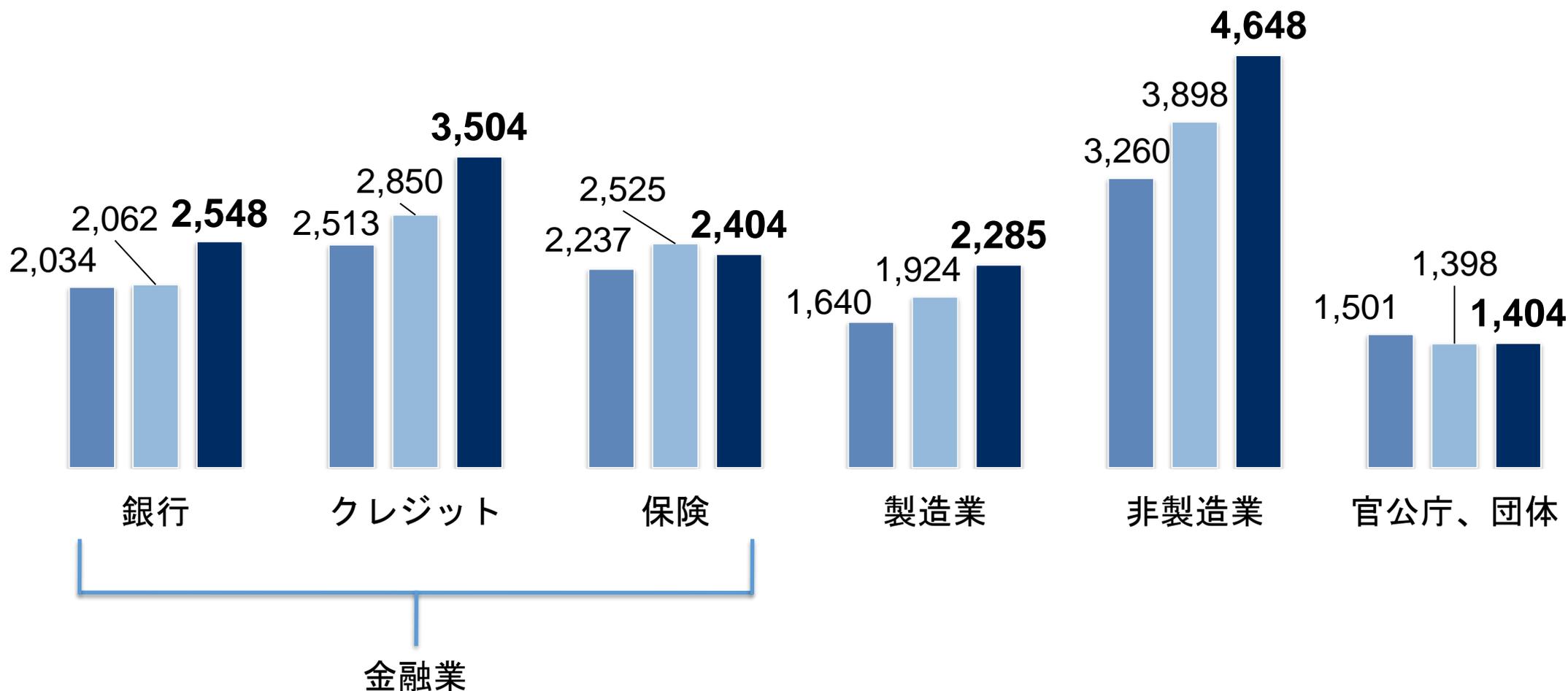
(単位：百万円)	2023年3月期 第2四半期末	2022年3月 期末	増減率
資産合計	20,724	21,072	△1.7%
流動資産	17,178	17,368	△1.1%
固定資産	3,545	3,704	△4.3%
負債合計	5,225	5,817	△10.2%
流動負債	4,897	5,540	△11.6%
固定負債	327	276	+18.5%
純資産合計	15,499	15,255	+1.6%
負債純資産合計	20,724	21,072	△1.7%
自己資本比率	74.8%	72.4%	-
1株当たり純資産	617.16	607.44	+1.6%

キャッシュフロー計算書

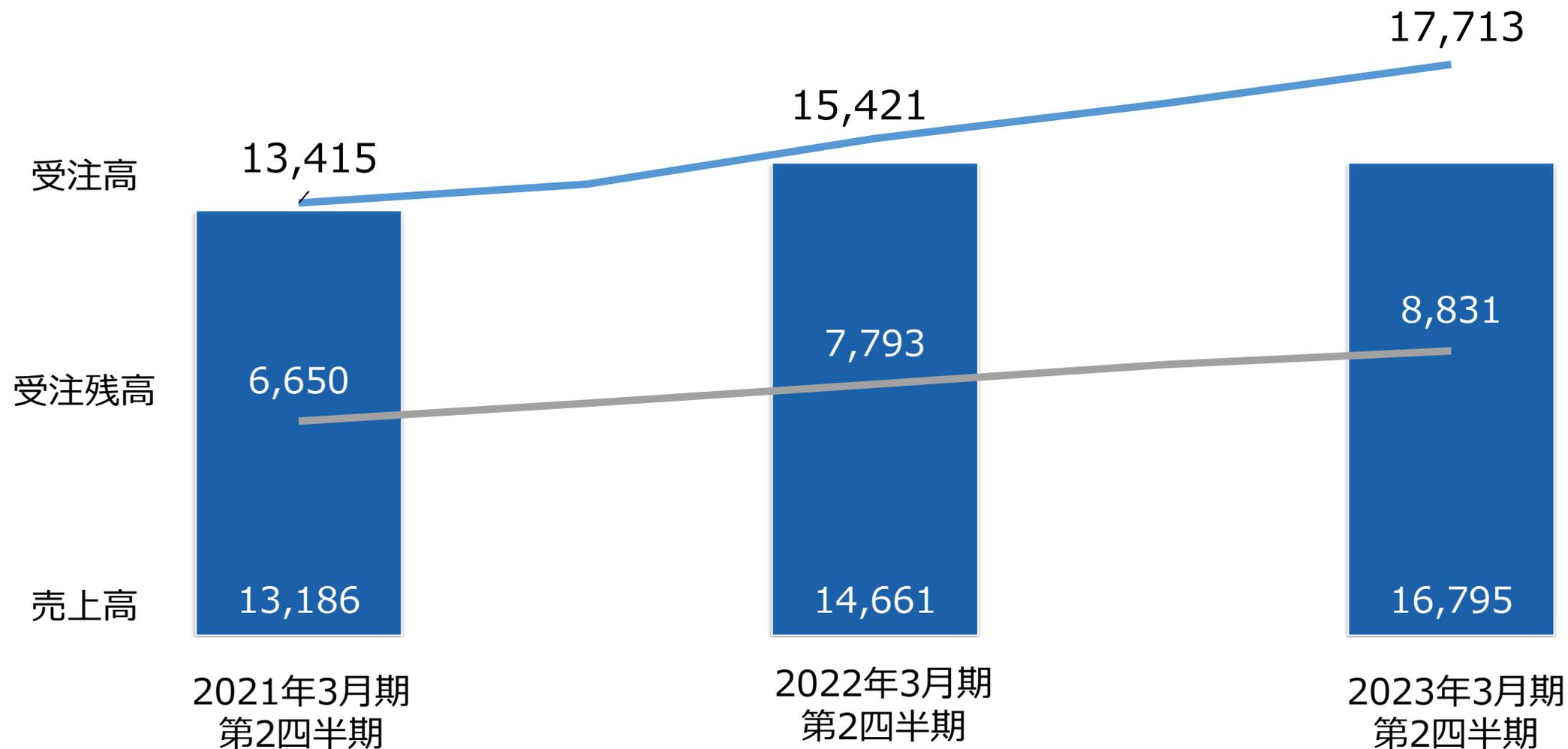


現金等の期首残高	11,702
税引前当期純利益	1,922
棚卸資産	△141
売上債権	386
未払金	△430
未払費用	△298
その他	△381
法人税等	△617
営業CF	441
投資有価証券の売却	17
利息及び配当金	25
その他	8
投資CF	50
自己株式の取得	△304
配当金支払額	△734
その他	69
財務CF	△969
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	151
現金等の期末残高	11,376

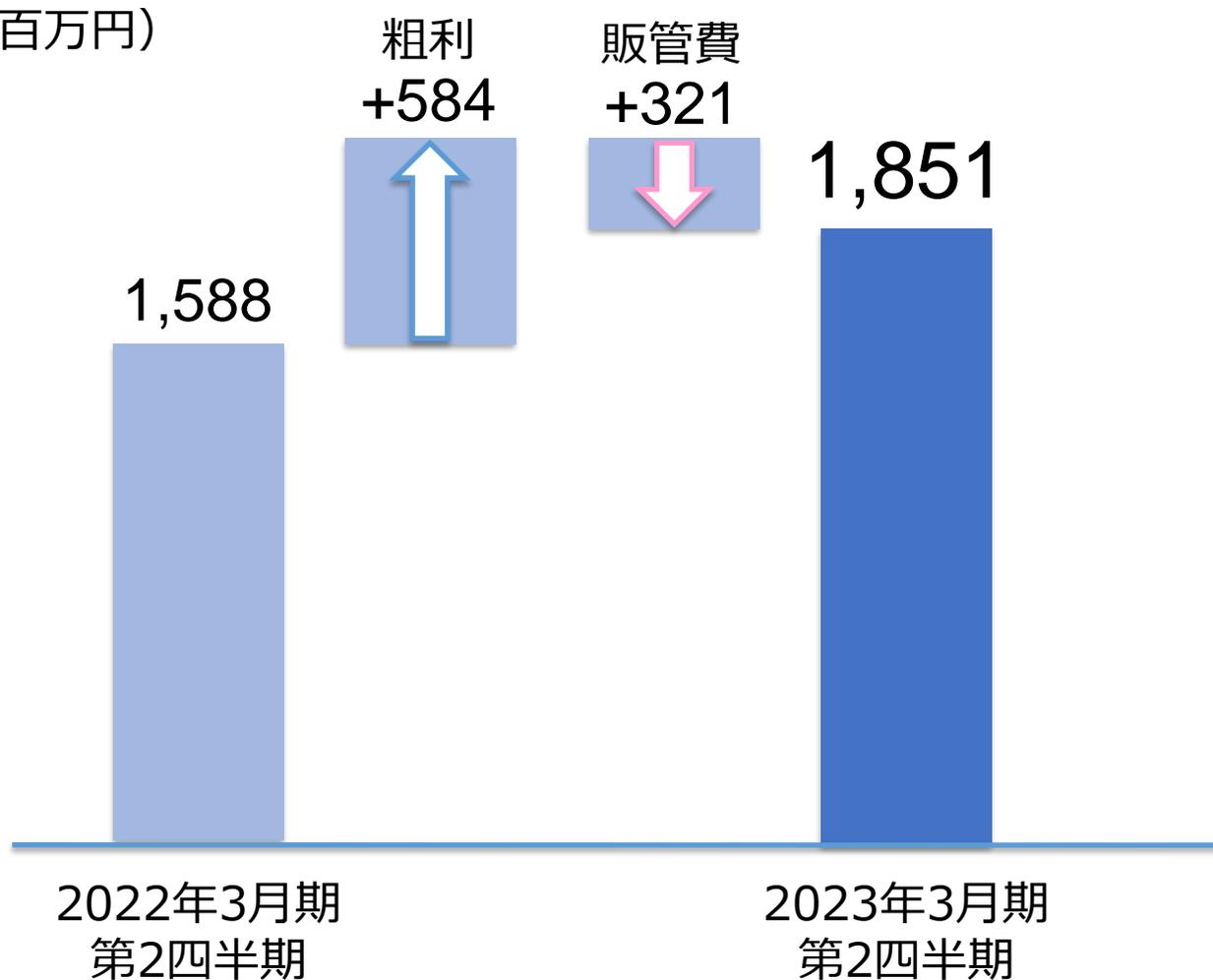
(百万円) ■ 2021年3月期第2四半期 ■ 2022年3月期第2四半期 ■ 2023年3月期第2四半期



(百万円)



(百万円)

**<粗利益>**

+売上高の増加による利益向上
+次世代型SI事業の事業構成比向上に伴う
収益性向上

<販売管理費>

+事業拡大に向けた積極的な投資の実施



※本資料についてのご注意：

本資料に記載されているTDCソフトグループの将来の予想に関する事項は、現時点における情報に基づき判断したものであり、予想に内在する不確定要因や今後の事業運営における状況変化等により変動することがあります。